

しば子先生の 芝生教室



先生:『マックワンフロアブル』については良くわかってきたかしら？

生徒:はい、安全性と効果についても、また使い方のポイントも良くわかりました・・・

先生:そうね・・・付け加えるとすれば、サンドグリーンではない土グリーンなどで極端に排水性の悪い土壌で使うときは**注意が必要**ね・・・どうしても芝生の根が浅くなるので・・・

生徒:なるほど・・・肥料を撒く時と同じですね・・・

先生:そうね・・・排水の悪い土壌は、肥料でも農薬でも土壌表層に集まってしまうので注意が必要だし、確実に芝生の根が浅くなるので芝生の耐性が低いと言うことになるわね・・・

生徒:やはり芝生をどれだけ健全にするかが重要なんですね・・・

先生:そのとおりよ・・・芝生の生育が悪ければよりカタビラが繁茂してくるわ・・・肥料の説明でも言ったとおり、カタビラの窒素の要求量はベントグラスの半分以下だから、施肥量が十分ではないとカタビラは元気で芝生にはつらくなるわ・・・それにベントグラスがしっかりと土壌表面を覆っていればカタビラの種も発芽しにくくなるわ・・・

生徒:何かの理由で芝生が無くなるとカタビラが一気に増えてしまうケースもありますね・・・ところでマックワンフロアブルは安全性も効果も素晴らしい除草剤だと思いますが何か欠点みたいな物はあるんでしょうか？

先生:そうね・・・とにかく春と秋に年二回撒いていれば新規のカタビラの発芽は抑えるし、出ているカタビラも徐々に小さくなってきてやがて無くなるわ・・・ただどうしてもマックワンでは消せないカタビラもあるわ・・・

生徒:えっそうなんですか？！

先生:そうなのよ・・・**多年草化した究極のカタビラ**ね・・・

生徒:多年草化したカタビラですか・・・

先生:そう・・・元々カタビラは一年草の植物なんだけど、何年かすると多年草化することがあるのよ・・・

生徒:ええっ・・・そんなことがあるんですか・・・恐ろしいですね・・・

先生:もちろん数年でなるわけではなくて、**大体 10 年から 20 年以上かけて**変わると言われてるわ・・・

生徒:変わるって・・・どうやってですか？

先生:カタビラは元々弱い植物で環境の変化ですぐに枯れてしまうんだけど、特徴としては**短期間で種を付けて次の代に引き継ぐサイクルが早い**という点があるわ・・・芽が出て地上に出てきたと思ったらすぐに種を付けてると言う事ね・・・

生徒:確かに普通の植物より種を付けるのが早いですよ・・・

先生:そう・・・そしてその時穂についているたくさんの種はそれぞれ微妙に**性格が違う**ということなのよ・・・

生徒:なるほど人間の兄弟と同じですね・・・

先生:そう・・・そしてそのたくさんの兄弟たちが地面に落ちて芽を出すんだけど、その兄弟の中で**その土壌や気候条件に合った物が生き延びていく**・・・それを繰り返すとその気候にあったカタビラがだんだん増えていくという仕組みなのよ・・・

生徒:なるほど！・・・グリーンのような毎日低く刈り込まれ、肥料もたくさん来て、水も撒いてくれる、**グリーンに管理条件に適した物がだんだん生き残って**いくということですね・・・

先生:そうなのよ・・・乾燥したところなら乾燥に強い兄弟が残る・・・排水が悪いところなら水気の多いところに強い物が残る・・・これがカタビラの生き残り戦略なのよ・・・つまり**環境適応力**ね・・・

生徒:そのグリーンバージョンが**究極の多年草カタビラ**ということですね！

先生:そう・・・私は何度も見てるけど、マックワンを何年も継続使用してもらって、ほとんどグリーンにカタビラが無くなっても、時々どうしても消えない、**緑色の濃い、葉のすごく細い、根が深く、種もあんまり付けられないカタビラ**が残ることがあるの・・・

生徒:それが究極の多年草カタビラ・・・

先生:でもマックワンを撒いていけばそれが増えることはないので大丈夫、対策は手で抜くかカップで切り替えてしまえば大丈夫・・・そういう多年草化しないように早期にマックワンで対策を取ることね・・・

しば子先生への質問や励ましのメールはこちらへ・・・
shibako@hugh-enterprise.co.jp

《芝生教室のバックナンバーはこちらから》

